

学校のきまり

常に社会的常識的に見て中学生らしい服装・行動を心がける。

=服装=

- ・髪型 清潔な中学生らしい髪型。(パーマ・脱色・毛染めは禁止、整髪料は禁止)
- ・ヘアピン・ゴム等は、黒・紺・茶色を使用する。
- ・シャツは指定のボタンダウンシャツ、またはそれに準ずるものとする。
- ・肌着は、無地で白とする(ワンポイントはよい)
- ・シャツは常に第二ボタンまで、式等では第一ボタンまでとめる。
- ・スカートの長さは、ひざ頭程度とする。
- ・ベルトは黒・紺・茶色のいずれでもよい。
- ・防寒具類は、必要に応じて適宜使用を認める。
- ・靴は、運動靴をはく。(体育の授業に支障のないもの。)
- ・靴下は白、黒、紺、灰色で、無地またはワンポイントのもの。
- ・タイツをはく場合には黒またはベージュのもの。

=登校・下校=

- ・8:20の予鈴には教室に入り、準備のできた生徒から朝読書を始め、8:25には着席している。
- ・放課後、幼児のない生徒は、すみやかに下校する。
- ・放課後は部活動、学級活動等で残る場合は、先生の指導がある時のみとする。
- ・下校途中、買い食いや寄り道をしない。
- ・登下校時は、交通法規を守る。

=校内生活=

- ・他教室に出入りしない。
- ・学校へは、学習に関係のないものを持ってこない。
- ・必要以外の金銭を持ってこない。必要な金銭を持ってきたときは、担任に保管してもらう。
- ・教室がからになるときは、盗難防止のために前後の入口の戸や窓を施錠する。
- ・金銭の貸借、物品の売買を禁止する。
- ・持ち物には必ず名前を書く。
- ・登校したら下校するまで校外に出てはいけない。
- ・昼食には弁当を持参するか、給食を申し込む。パン、飲み物を買う場合は、登校前に済ませておくこと。
校外に買いに出ることはしない。
- ・水筒は持参してもよい。飲み物を買う場合は紙パックのものとする。
- ・休業中または一旦帰宅して再び登校する場合も、標準服で登校する。

=校外生活=

- ・アルバイトは、原則として禁止する。
- ・友人同士でゲームセンター等に出入りすることは禁止する。
- ・キャンプ、宿泊を伴う旅行やサイクリングには、友人同士で行かない。必ず、保護者かそれに代わる責任者が同伴する。

TPOを意識して、
自分で判断できる
力をつけよう

檜中生の身だしなみ

頭髪

- ①中学生らしい頭髪（様々な面接に通用する）
- ②黒、紺、茶のゴム・ヘアピンはOK
- ③整髪料、パーマ、染色などは禁止

ボタンダウンシャツ

- ①指定のシャツ、または、準ずるシャツ
- ②肌着（インナー）は白の無地（ワンポイントOK）
- ③ズボン・スカートにシャツを入れる
- ④常に第2ボタンまでとめる。

ブレザー

- ①そでをまくらない
- ②ボタンは2つとめる

ズボン・スカート

- ①スカートはひざの真ん中にかかる長さ
- ②ズボンはベルトをつけ、すそをまくらない。

足元

- ①靴は運動靴（体育の授業で使います。）
- ②靴下は白、黒、紺、灰色で、無地またはワンポイントのもの

カバン

- ①その日の授業に必要なものが入る大きさのカバンを使いましょう。
- ②教科の授業がない日でも、いつもどおりカバンを持てきましょう。

防寒対策として認められているもの

セーター…学校指定、またはそれに準ずるもの。無地のVネック。
白、灰、黒、紺、茶5色が認められています。

防寒着…特に指定はありません。登下校するのに適したものにしましょう。

その他…手袋、マフラー、ネックウォーマーは登下校時のみ着用してもよい。

ひざ掛けや座布団は、教室内のみ使用可。巻いたり、肩にかけたりしない。

ブレザーを着ても寒い場合に使用してもよい。

始業式・入学式・卒業式・
修了式やそれに準ずる日は
ブレザーを着る。
第1ボタンをとめる。

